

大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



研究が楽しくて
博士後期課程に
進学したけど…

アカデミアに
進みたいけど
将来が見えないし…

自分の専門を
活かせる企業が
思い浮かばない…

周りには
キャリア相談
できる同期が
少ないし…

研究が忙しくて
就職活動が
なかなか
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し
てみよう、研究をするなら産業界と
いう広く大きな世界がある事に気が
付きます。

思いもよらない企業があなたの方
うな人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P12へGo!

D2/D3/PD
Type.1

【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

あなたはどのタイプ?

【計画設計タイプ】

Type.2
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか
企業か、しっかりと情報収集しよう!!



そんなあなたは、自分の専門性の
活かし方を探ってみよう、そして
プラスアルファのスキル習得で大きく
幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P6へGo!

早いうちに複数の
選択肢を検討して
おきたい…

研究は楽しいけれど
博士後期課程は
将来が不安…

企業では
どのような研究が
できるんだろうか…

大学と企業って
研究のやり方が
違うのかなあ…

社会に出てから
役立つスキルを
身に着けたい

先端人材育成センターが提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型
(DC・PD)

意識改革型
(MC・DC・PD)

⑩ 博士力実践インターンシップ

業務を経験
.....P15へ

⑨ 赤い糸会

企業と論議
.....P13へ

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD限定
.....P12へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑦ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る
.....P7へ

⑥ エントリーシート書き方セミナー

実践につなげる
.....P7へ

⑤ 小論文・作文セミナー

実践につなげる
.....P8へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る
.....P11へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る
.....P9へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る
.....P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは
ここから!

全員登録!
.....P4へ

① Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの
お知らせが
届きます
(Event News)

企業情報や
就職情報の
閲覧が可能
(Company Info)

企業への
自己PRを
発信できます!
(Expose your PR
Information)

Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…
だけどTransferable Skill
はどんな場面でも必要だ。登録
して活用しよう!



MCでの就職も、DC進学後に
就職するのもおもしろそう。
情報やイベント満載だわ!
早く登録しよっと。

まずはご登録
ください!

Hi-Systemへは先端人材育成センターホームページよりアクセス!

Get access to Hi-System
from the Front Office for Human Resource Education and Development website!

<https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/>

左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ

Left banner "Hi-System"→Go to the Hi-System login page



みなさんをサポートするチームです

S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在學生、またPDの皆さんが多様なキャリア、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

COFRe

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、12大学(東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、名古屋大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

I-HoP

I-HoPは英語で学ぶ外国人大学院生や研究者のためのプログラムを実施しています。英語での相談など、是非ご利用ください。

X (旧 Twitter) やってます



博士のための情報を発信するために

X (旧 Twitter) を運営しています。

是非フォローをしてお役立てください。

② キャリアマネジメントセミナー (授業)

MC・DC・PD

1. イノベーションの本質がわかる!
2. 企業の研究開発の考え方がわかる!
3. 社会で活躍するスキルが身につく!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は500人近くの受講者がありました。

1. 大学院共通授業科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目
(研究指導科目を含む)
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

2023年度実施状況

※講義動画の配信により実施

	講義内容	講師	
1	イントロダクション	先端人材育成センター	吉原拓也
2	イノベーションを起こす	先端人材育成センター	吉原拓也
3	企業の種類と分析	先端人材育成センター	片垣麻理子
4	プレゼンテーション	物質・材料研究機構/ 元NHK科学番組ディレクター	小林隆司
5	知的財産マネジメント	先端人材育成センター	吉原拓也
6	アントレプレナーシップ	ベビログ	板羽宣人
7	マーケティング	日本電気	小糸達也
8	発想法	東京大学	藤本徹
9	商品創造/新商品開発	セコム	甘利康文
10	企画書の書き方	先端人材育成センター	吉原拓也
11	企業(1)先端技術と新規事業	ANAホールディングス	津田佳明
12	企業(2)先端技術と新規事業	ソニーグループ	矢藤有希
13	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一
14	企業(4)先端技術と新規事業	NHKエデュケーショナル	石戸功一
15	リーダーシップ	住友ファーマ	板倉朋宏

2024年度実施予定

開催日時:2024年4月~7月
毎週1コマ 全15回

受講方法(予定)

- ①Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2024年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。
 - ②単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。
- ※詳細はシラバスをご覧ください



受講者の声



2023年度受講者アンケートより

就活に役立つと思いこの講義を受講したが、就活だけでなくこれからの人生の歩み方を考える機会となった。受講できてよかった。是非後輩にも勧めたいと思う。

様々な講師の方のお話を聞いて、自分と同じ考え方に納得することもあったし、自分にはなかった考え方に驚くこともありました。多様な価値観に触れることで自分自身を見つめ直すきっかけになったし、もっとキャリアを広く考えようと思うことができました。

研究生を送っていると、実験などに揉まれて自分の人生や抽象的なことを考える時間がないため、様々な講師の方から深い話を聴くことができ本当に良かった。動画配信の形で受けられるのも、研究優先できてよかった。

⑥⑦ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

1. 良い第一印象が身につく!
2. コミュニケーション力が向上する!
3. 博士らしいESが書けるようになる!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーと、エントリーシートの考え方を学ぶセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)及び(株)エマージングテクノロジーズより経験豊かな講師をお迎えしています。

ビジネスマナーの基本と実践

2024年度実施予定

2024年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象

社会人としてふさわしい接遇（おもてなし）の具体的な表現方法や、オンラインでのコミュニケーションのポイントをペアワークなどの演習をまじえながら学びます。

2023年度受講者アンケートより

2023年度実施状況

※オンラインで実施



ANAビジネスソリューション・高原講師

実践から考え方で、納得しながらお話を聞くことが出来た。講師の高原様が実際にマナーを意識されてセミナーを進めていってくださったので、お話される内容に非常に説得力があった。

面接のマナーとしてだけでなく、日々のコミュニケーションにも役立つようなことが実感でき、価値の高いセミナーだったと考えています。

ビジネスマナーを学ぶ機会がなかったため、就職活動が本格化する前に学ぶことができてよかった。

エントリーシート書き方セミナー

2024年度実施予定

2024年8月～10月(予定)

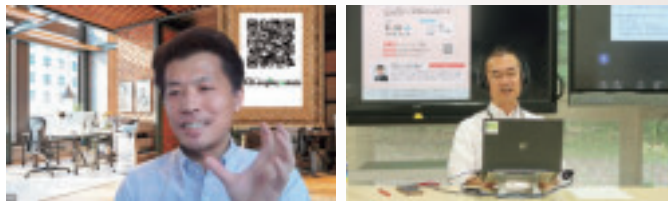
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

研究開発職向けのES書き方セミナーです。

webサイトに掲載されている一般的な書き方ではなく大学院生ならではの書き方を具体的に説明します。企業の研究職を目指し就職活動中の方に大変有効です。

2023年度実施状況

※オンラインで実施

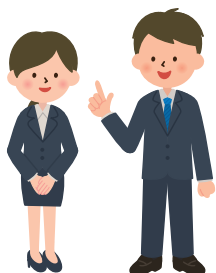


エマージングテクノロジーズ・深澤講師

2023年度受講者アンケートより

ESの書き方というタイトルから、もっとプラクティカルな内容を想定していたが、想像以上にキャリアについての考え方全般に関する勉強になった。

専門外の人にどうすれば理解してもらえるように研究内容を説明するのか、また、どのようなエピソードが自己PRの執筆に効果的なのか、といった内容がとても参考になりました。



⑤ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

- 1.文章を書く基本がわかる！
- 2.文章を書く仕事のマインドセットがわかる！
- 3.自分が文章を書くときの癖がわかる！



マスコミ・サイエンスコミュニケーター等の就活のためのマインドセットや、採用試験の小論文・作文対策のため基本的なストーリーの作り方を学べるセミナーです。

(株)イノベーターズ・キャリアサポート(ICaS)より経験豊かな講師をお迎えしています。

小論文・作文セミナー

～マスコミ・サイエンスコミュニケーター等を志望する方に役立つ就活対策～

2024年度実施予定

2024年8月～10月(予定)
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

2023年度受講者アンケートより

2023年度実施状況

※オンラインで実施



イノベーターズキャリアサポート
松尾講師

起承転結を意識することの大切さなど文章作成のポイントについて具体的に学ぶことができ、勉強になりました。

自分が作成した文章で改善すべき点や、読み手に伝わりやすい文章を作成するためのポイントについて、丁寧に教えていただいたおかげで理解が深まり、非常に勉強になりました。

小論文・作文添削

2024年度実施予定

2024年8月～10月(予定)
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

決められた時間・文字数で作文を執筆していただき、講師が添削します。実際に執筆してみるとより効果的です。

2023年度受講者アンケートより

この度は大変ありがとうございました。セミナーを通して自分の文章の改善点や今後の課題について学びが深まり、非常に勉強になりました。再提出した文章もご指導いただき、大変感謝しております。

③ Advanced COSA

MC・DC・PD

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。

1. 大学院共通授業科目
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
(Advanced COSA(1)、(2)) (各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

2024年度開催予定

Advanced COSA(1):2024年7月頃(予定)
Advanced COSA(2):2024年11月頃(予定)

スケジュール

(1日目)

- ・ガイダンス(30分)
- ・企業講師①講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・質疑応答(60分)
- ・企業講師②講演(120分)
- ・質疑応答(60分)

(2日目)

- ・企業講師③講演(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・企業講師④講演(60分)
- ・昼休み(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・企業講師⑤講演(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・総括討論、まとめ(30分)

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

- | | |
|------------|--------------|
| ■ IHI | ■ テルモ |
| ■ 旭化成 | ■ デンソー |
| ■ アステラス製薬 | ■ 東急建設 |
| ■ アラヤ | ■ 東芝 |
| ■ 大塚製薬 | ■ 東北大学 |
| ■ 川崎重工 | ■ 東レ |
| ■ キュービー | ■ トクヤマ |
| ■ 協和発酵キリン | ■ 新潟大学 |
| ■ クラシエ製薬 | ■ 日本アイ・ビー・エム |
| ■ クレハ | ■ 日本製鉄 |
| ■ 神戸製鋼所 | ■ 日本電気 |
| ■ コーセー | ■ 日本電信電話 |
| ■ サントリー HD | ■ ノバルティスファーマ |
| ■ JNC | ■ 日立製作所 |
| ■ シスメックス | ■ 堀場製作所 |
| ■ 資生堂 | ■ マルハニチロ |
| ■ 島津製作所 | ■ 三菱電機 |
| ■ 昭和電工 | ■ メタジェン |
| ■ 住友ファーマ | ■ ヤンマー |
| ■ 住友化学 | ■ 横浜国立大学 |
| ■ 第一三共 | ■ ライオン |
| ■ ダイセル | ■ ラクオリア創薬 |
| ■ 武田薬品工業 | ■ レノバ |
| ■ 大日本住友製薬 | ■ ロート製薬 |

※新型コロナウイルスの感染状況により構成が変わる場合があります。詳細はシラバスをご覧ください。

2023年度実施状況



住友ファーマ・永田講師



東北大学・遠藤講師



クレハ・穴吹講師



島津製作所・港講師



横浜国立大学・為近講師



トクヤマ・山本講師



アステラス製薬・山崎講師



東芝・アルベール講師



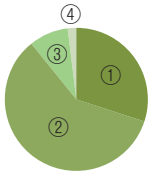
コーセー・羽山講師

2023年度受講者アンケートより

質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

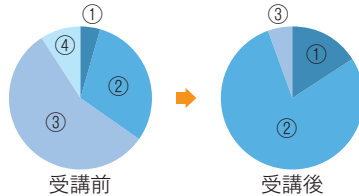
- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

①②の肯定的な感想が89%



質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
 - ②ある程度理解している
 - ③よく理解していない
 - ④全く理解していない
- ①②のある程度以上 理解の比率が35%→95%



■受講生より■

- キャリアが近い先輩や少し離れた年代の講師など多様な視点での話を聞くことで、どのような個人の視点・考えで就職していったのか、反対に共通していることなどといった多角的に就職について考えることができ興味深かった。
- 大学と企業での研究の違いや研究に対する考え方などの生の声を聞くことができ、自分が今どういうことを意識すべきなのかなどの参考になった。
- よく知らなかった研究職の細かい点や、ホームページだけでは知ることができない裏側まで、社員の方の話を聞いてよく理解することができました。

先輩からひとこと

Message

穴吹 友亮

株式会社クレハ
中央研究所農薬合成研究グループ
2020年3月 北海道大学 大学院
農学院 博士後期課程 修了



「学生時代はたかだか数年で専門性には期待していない。それよりも学生時代に培った研究の姿勢をぜひ発揮してほしい。」北大在籍時にAdvanced COSAに参加しましたが、企業の方の発言で記憶に残っているのがこの言葉です。正直なところ当時の私は「そうは言っても専門性が大事なのではないか」と半信半疑でしたが、数年企業で働いた今はその発言について深く実感しています。幸いなことに、比較的専門性を活かせる農業の研究に携わっていますが、大学時代に学んだ知識だけでは全く不十分であり、市場分析や知的財産、プログラミングなどの新しい知識の習得の必要性を日々感じています。一方で、大学時代に身に着けた情報収集や仮説立案のスキルのおかげで主体的に業務に取り組み、研究のやりがいを感じられているのも事実です。この経験から伝えたいことは、就職活動で自分の専門性に囚われすぎないことです。がむしゃらに研究に取り組む中で身につけた能力があればどんな分野でも活用できる場はたくさんあると思います。

私自身、アカデミックな道で研究者を目指すか、それとも企業で研究するか、学生時代に相当悩みました。企業での研究職という選択を今後悔していないのは、S-cubicのプログラムを通して、多くの企業人の考えや本音を聞いて決断したことが大きいと感じています。赤い糸会では多くの社員と1対1で交流する中で、それぞれの社員がどういうことを考えて普段業務に取り組んでいるか知ることができました。同じ企業でも、社員によって想いが違うことも多かったことが印象に残っています。また、インターンシップを通して、新しい製品を生み出す開発を実際に経験し、その面白さに気づいたことも企業就職の後押しとなりました。

学生の進路の悩みに少しでもプラスになればと思い、今回のAdvanced COSAの講演に臨みました。企業の良い面も悪い面も含めて今感じている本音をお伝えしたつもりですので、学生の皆様にとって少しでも有意義な情報があれば嬉しく思います。

Advanced COSAに参加して

Message

羽鳥 聖七

医学院 医学専攻 (DC2)
2025年3月 修了予定



私は博士課程から北大に入学しました。入学時すでに企業への就職を考えていましたが、北海道に来たばかりで友人がおらず、博士課程の就活について話せる人がいない不安な日々を送っていました。情報戦と言われる就活に乗り遅れないよう、まずは企業について調べようと考えていた矢先、インターネットでA-COSAの存在を知り、受講に至りました。

A-COSAの特徴は、若手・所長クラス双方の先輩が、「学生時代を意識して」企業での研究について講義をしてくださる点にあります。若手の先輩は、自らの学生時代の研究が今の職にどう活かしているかを説明してくださり、所長クラスの先輩は、入社後のキャリア形成についてご自身の入社後の経験だけでなく学生時代の話も添えて具体的に説明してくださったことが印象的です。アカデミアにいてもどうしても今と将来の企業での研究の繋がりを明確にイメージするのは難しいですが、本講義を聞いて、今→就職→キャリア形成の流れや、今の研究生活がどう将来に繋がるかを具体的に知ることができました。就活で企業研究を始める前に、実際に話を聞いて企業で研究者として働くイメージを明確に掴めたことは、就活の第一歩として非常に有意義だったと感じます。

また、普通の就活では聞くことが難しい話を聞くことができることも、A-COSAの良い点だと思います。私は博士号取得から企業に行くという自分の選択が正しかったのかということをよく考えますが、講師の先生方は博士号が実際にどういう場面で活かされるかを企業視点から説明してくださり、自分の今に自信を持つことができました。質疑応答の時間が十分すぎるほど用意されており、講師の先生方は本講義の意図を理解して親身に話を聞いてくださるため、就活の場では聞きにくいことでもある程度フランクに聞くことができます。

A-COSAに参加するまで就活や企業での研究について何も知らない私でしたが、A-COSAに参加したことで、博士課程にいる自分の今から将来の企業での研究活動までを明確に線で繋ぐことができようになりました。将来企業で研究することを少しでも考えている学生さんは、就活まで時間があるうちに、ぜひ楽な気持ちでA-COSAに参加してみることをお勧めします。

Advanced COLA

MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、産業界に活躍の場を見出された企業人の方3名をお招きし、人文・社会科学系大学院で学び、そこで身につけた教養が産業界でどのように活用できるのか、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただきます。また、人文・社会科学系の博士だからこそできる社会の課題解決についても論議します。

2023年度実施状況



NTT社会情報研究所・横山講師



SAPジャパン・蘇講師



三菱総合研究所・数本講師

2023年度受講者アンケートより

博士学生と民間企業をマッチングする活動が文系についても存在すること、インターンシップなど、直接的な交流の機会をもつことが重要であることが分かった。

人文系博士課程経験者が非アカデミアにおいても発揮することのできる能力やスキル、またそれらの活かし方について、登壇者の方々具体的なエピソードを元知ることができ、大変参考になった。

④ キャリアパス多様化支援セミナー

MC・DC・PD

- 1.ファシリテーションを実体験!
- 2.研究室でも活かせる交渉力!
- 3.専門性をアピールするプレゼン力!



大学院で学んだ専門性を幅広く社会で活かすためのスキルとして、ファシリテーション、交渉学、プレゼンテーションを身に付けるセミナーです。これらのスキルは知識として知っているだけでは、なかなか役に立ちません。基本的な事項を学んだ後、実際に演習をして、自分の癖や特徴を知り、それらを活かす方法を見つけ出しましょう。

- 1.大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」(1単位)
- 2.生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

2024年度実施予定

I(交渉学):2024年6月頃(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

II(プロジェクトファシリテーション):2024年7月頃(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

III(研究力アピール強化ワークショップ):2024年11月頃(予定)

大学院生の最も大きな特徴は研究力が高いことです。しかし、学会と同じようなプレゼンでは、企業就職やアカポス獲得のようなキャリアを切り開く際には高い評価が得られません。自身の特徴や研究力をアピールするプレゼンを演習で身に付けます。

2023年度実施状況

I プロジェクトファシリテーション



古河電気工業 関講師

2023年度受講者アンケートより

ファシリテーターの役割は、意見を引き出すだけでなく議論に結論を出す所までマネジメントすることが重要であるとワークを通して実感することができた。

会議を進めていく中で決まらないことがあるとズルズルと時間を浪費してしまいますが、効率を考えた会議を行う秘訣を知れたと思います。

II 交渉学



東京富士大学 隅田講師

2023年度受講者アンケートより

お互いの望みを理解できる様な話し合いをしてから共通理解を打ち出し、この後に交渉を持ちかけるとした内容は目から鱗であり、研究生生活に使えると思いました。

指導教員とのディスカッションの時に、自分の伝えたいことをきちんと伝えられるような気がします。また、今まで自分の考え方のクセに気づけ、視野が広がった気がします。

III 研究力アピール強化ワークショップ



エマージングテクノロジーズ
深澤講師

2023年度受講者アンケートより

研究の内容よりも、研究の過程(なぜそのアプローチに至ったのか、どんなコトをしたのかなど)を重視すべしということを学んだ。

研究紹介にも学会発表、サイエンスコミュニケーション、起業就活、アカデミア就活の場で内容や工夫する点をそれぞれの目的に合わせて準備する必要があることを実感できました。

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 自分の特徴を活かす進路を探索!
3. プライベートな事も相談可!



WEBで得られる就活やキャリアに関する情報は学部生向けが多いため、専門性が高い大学院生が参考になると、その能力を活かすことができない結果になりがちです。また、大学院生の専門性を活かすキャリアは、その専門領域毎に異なるため、WEBから知識を得ることは困難です。博士課程の学生や博士を目指す大学院前期課程の学生はできるだけ早い時期にJ-windowで個別相談することをお勧めします。

主な就職先

(敬称略、五十音順)

■ 旭化成	■ オキサイド	■ 塩野義製薬	■ 大鵬薬品	■ fixpoint
■ アステラス製薬	■ 協和キリン	■ 島津製作所	■ 中外製薬	■ paypayカード
■ アミノアップ	■ コニカミノルタ	■ 住友ファーマ	■ トクヤマ	■ ロート製薬
■ SAPジャパン	■ 小林製薬	■ セイコーエプソン	■ 日本たばこ産業	
■ 大塚製薬	■ JSR	■ 積水化学工業	■ 日本入試センター	

J-window を活用して 久語 佑希

総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
2024年3月修了予定
→セイコーエプソン株式会社内定



これから就活を始めようと考えていた博士2年の6月に個人面談で初めてJ-windowを利用しました。当時は就活に関して漠然としたイメージしか持っておらず、志望業界に関しても自分の専攻に近い業界でいけばよいかなどを考えていました。これからどのように就活を進めていけばよいかなどを相談するために個人面談を申し込みました。面談を通して、自分の専門分野だけでなく、視野を広く持つことの重要性を教えてください、今後どのように就活を進めていくかの方向性について深く考えるようになりました。面談で参加を勧められた赤い糸会においても、できるだけ多くの業界・企業の方とお話することを目標に参加しました。その結果、就活を始めた時点ではあまり考えていなかった業界の企業とマッチングすることができ、進路の選択肢が広がったことを実感しました。就活を振り返ると、J-windowでの個人面談は私の就活の大きな転換点となりました。

就活が進むにつれて、J-windowではES添削でお世話になりました。企業がどのような人材を求めているのか、自分の考えを順序だてて説明するなどのアドバイスをいただきました。これらのアドバイスはESだけでなく、面接でアピールすべきポイントや自分の考えを整理することにもとても役に立ち、自信を持って選考に臨むことができました。これらのJ-windowの丁寧で確かなサポートのおかげで、納得のいく就活を進めることができました。

また、就活を通じて、これまでの研究で培われた知識、経験、努力は、自分の専攻以外の企業や業界への就活においても十分に活用できるものだと実感しました。J-windowでは一人一人に寄り添ったアドバイスをいただけたと思いますので、ぜひ活用してみてください。最後になりましたが、丁寧で温かいサポートをしていただいた先端人材育成センター、S-cubicの皆様へ心から感謝申し上げます。

J-window を活用して 岩崎 若菜

農学院 農学専攻 (DC3)
2024年3月修了予定
→株式会社島津製作所内定



私は博士1年の12月頃からJ-windowを利用し始めました。当初はアカデミアに進むか企業に就職するか悩んでおり、経験豊富な方に相談し面談を申し込みました。私は北海道大学に博士課程から進学した関係で、他の博士学生と比較して現在の分野での研究成果が少なく、企業就職のネックになると考えていました。しかし相談を通じて、企業が博士人材に求めるものは成果の数ではなく、研究を行うスキルとそれを柔軟に応用できる能力であると知りました。さらに、他の学生との差異は強みにできることも理解し、企業就職に可能性を見出すことができました。同時に、自分の現状や今後の方針を言語化することで自己理解が深まり、各進路の利点や欠点を明確に把握できたことで企業就職を決意するに至りました。

企業選びではOBのご紹介を受け、面談や見学を通じて理解を深めました。ES作成時には、採用側がESに盛り込んでほしい要点は、どのようにしてその考えに至り、どのように行動したのかといったプロセスであることをご指導いただきました。自分ではプロセスを意識して書いたつもりでも、ESとしては不十分だというのは読み慣れている人でないと指摘できないと思います。文章を何度も校正を行っていただき、採用側が伝えてほしいことに対して齟齬なく伝わるようなESを作成することができました。オンラインでの面接指導では画面を利用した自分の魅せ方や、面接練習を通じた私の印象を教えてください、これは社会に出てからも役立つ知見だと感じています。

博士課程では相談できる同期がいなかったり、研究活動で多忙だったりキャリアについて深く考えることが困難でした。その中でも就職活動を行えたのは、先端人材育成センターの皆様のおかげだったと思います。J-windowは就職活動の第一歩目の相談にも応じていただけたため、皆さんも是非活用してみてください。最後に、多くのご支援を賜りました人材育成センターの皆様へ、この場を借りて深く御礼申し上げます。

⑨ 赤い糸会 (赤い糸ONLINE)

DC・PD

1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. その後に繋がる濃密な相互交流!



赤い糸会は異なる業界の企業と様々な分野の博士人材が相互交流し、博士人材が活躍できる場を探索するマッチングの場です。参加企業は自社の事業や研究開発の内容および博士人材への期待を発表し、博士人材は自身の研究内容や人となりをアピールし、さらには意見交換することにより、研究所見学やインターンシップ、個別相談等の次のステップに繋がります。北大の博士を採用したい企業が参加するので、他のイベントよりもマッチングする確率が高いことが特徴です。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」
(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

2024年度実施予定

2024年9月~12月に3回程度実施予定

オンライン実施時のスケジュール

- ・企業動画視聴
- ・博士人材プレゼン
- ・企業ルーム交流
- ・情報交換交流会

対面実施時の1日スケジュール

- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・博士人材のポスター発表(130分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

2023年度参加企業

(敬称略、五十音順)

■ 旭化成	■ 三桜工業	■ 同仁医薬化工
■ アステラス製薬	■ JSR	■ 北海道立総合研究機構
■ アミノアップ	■ 塩野義製薬	■ トクヤマ
■ アルビオン	■ 資生堂	■ とめ研究所
■ ウェザーニューズ	■ 島津製作所	■ 日本製鉄
■ エーザイ	■ 信越化学工業	■ 日本電気
■ SAPジャパン	■ 住友化学	■ 日本入試センター
■ ENEOSマテリアル	■ 住友金属鉱山	■ 日本ベーリンガー インゲルハイム
■ 大塚製薬	■ 住友ファーマ	■ パナソニックホール ディングス
■ 協和キリン	■ セイコーエプソン	■ 富士通
■ 京セラ	■ 積水化学工業	■ プリチストン
■ クレハ	■ 第一三共	■ みずほ第一フィナン シャルテクノロジー
■ ケンブリッジコンサル タンツ	■ 大日本印刷	■ 三菱電機
■ 神戸製鋼所	■ D4cプレミアム	■ リコー
■ コニカミノルタ	■ テルモ	■ レゾナック
■ サントリーホールディ ングス	■ 東急建設	
	■ 東京エレクトロン グループ	

2023年度実施状況



個別交流会(オンライン)



企業講演



ポスター発表



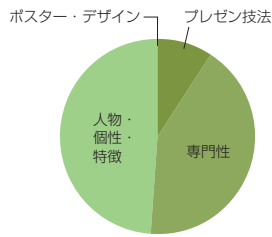
個別交流会

2023年度の総参加延べ数 企業:48社、博士人材:104名

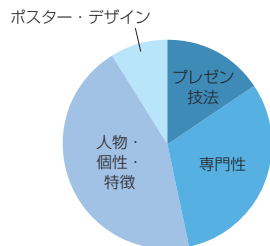
2023年度のアンケート結果

ポスター発表について

博士人材がアピールできた点



企業が注目する点



■博士人材より■

- 自分が活躍できるフィールドは限られていると思っていたが、直接自身の専攻と関係なくても、今まで培ってきた思考力や研究に対する姿勢が社会に活かされると気がついた。
- 企業によって、単純な研究分野以外の面でもどのような博士学生を求めているかが異なり、企業を選ぶ際には考え方や志向性がどの程度マッチングするかを考慮することが重要だと考えた。

■企業担当者より■

- 予想以上に多くの優秀な学生様と密に交流することができ、大変貴重な機会となりました。博士の皆様のプレゼンテーションも、わかりやすさや短時間でのPRなど工夫されており非常に素晴らしかったです。
- 高度な専門性はもちろんのこと、自身の専門に直結しなさそうな幅広い業種への興味を持っていただけるとよりよいと思います。
- 自分のアイデアを持って主体的に研究を遂行することを期待します。また、どんどん周りの人を巻き込んで、新製品の開発に貢献することを望んでいます。

OBとして赤い糸会に参加して 馬場 健太郎

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社
フィデューシャリーマネジメント部
2022年3月 北海道大学 大学院
医理工学院 博士後期課程 修了



世にも珍しい博士採用を行う企業と出会える機会、というのが赤い糸会の一つの特徴です。ここに参加する企業はなぜ、必ずしも企業活動と合致しない研究を行う博士課程の学生を採用しようとするのでしょうか。学生側と企業側両方から赤い糸会に参加した経験を通して感じたのは、学生時代に私自身を取り巻く環境から見えていた「博士」の姿と、企業で働く中で求められる「博士」の違いです。企業側が博士課程の学生に求めるのは、研究の土台となっている高度な専門知識を応用する能力であると私は感じています。

学術研究において、研究課題として扱われる内容はご自身の専門分野の中でもかなりディープな内容なのではないでしょうか。一個人としてはポスターセッションでの研究発表は非常に楽しみであり興味深く拝見しています。一方で、皆さんを取り巻く研究室や学会等で議論される内容が、利益を追求することを目的とした企業において重要かと問われると、必ずしもそうではありません。

赤い糸会のポスターセッションでは、その研究内容以上に、その活動を支えている知識や技術が一つの焦点となります。これは例えば専門書に書かれているような内容や、プログラミングスキルなども該当します。あくまで現在の研究は、土台となる知識・技術の応用と位置づけ、その能力を企業で活かせる人材なのかを見えています。赤い糸会は様々な業界の企業と出会うことができる貴重な機会です。ここでの発表は単に研究内容の説明にとどまらず、その土台となるご自身の能力をアピールすることで、思わぬ企業と出会えるかもしれません。博士課程を通し、研究を突き詰めることは何よりも重要です。私はその過程で得たであろう能力や経験を高く評価しています。積極的に博士人材を採用する企業も同様にそうなのだろうと思っています。

赤い糸会を通し今一度ご自身の能力を見つめなおすことで、皆様の新たな可能性が広がることを願っています。

赤い糸会に参加して 関澤 祐侑

生命科学院 ソフトマター専攻 (DC3)
2024年3月修了予定
→株式会社トクヤマ内定



様々な先輩方から赤い糸会がきっかけで会社を決めたという話を聞き、私は博士1年次の夏ごろからイベントに数回参加しました。就活の軸が確立できていない中、とりえず(もちろん真面目に!)参加した赤い糸会でしたが、分野を問わず様々な企業と交流させていただき、どのような企業からニーズがあるかを早い段階で実感できました。また、私が予想していた以上に、企業ごとにそれぞれの雰囲気があり、自身にマッチするかがよく分かると感じました。

私が入社を決めた株式会社トクヤマも、赤い糸会での企業からのマッチングで巡り会ったおかげです。博士1年次に参加した赤い糸会でトクヤマを初めて知りました。その時は社員の方々や会社の雰囲気等には魅力を感じたものの、会社の事業内容を聞いて自身の専門分野を活かせないと考えていました。しかしながら、翌年参加した赤い糸会で「関澤さんの専門に近いところで事業を進めている」というお話を伺い、エントリーする運びとなりました。トクヤマだけでなく、その他にも様々な企業の方から「実は他の事業もやっていて…」というお話を伺いました。もし赤い糸会に参加していなかったら、このような縁はなかったと思いますし、博士学生に興味がある様々な企業から直接お話を聞いた上で今の会社を決めたため、就活の納得度も大きく異なっていたと思います。

最後になりますが、私が内定を得ることができたのは赤い糸会を開催してくださり、かつ自己PRやプレゼンを添削していただいた先端人材育成センターの方々のおかげです。先生方による赤い糸会前の添削により、異なる分野の方から見た際の内容の分かりやすさや伝わりやすさが明らかに向上しました。先端人材育成センターでは赤い糸会の他にも、赤い糸カフェによる博士学生同士の情報交換やES添削、面接練習など、手厚いサポートをしてくださります。博士学生の皆様にはこれらの活用を強くおすすめします。

プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する博士人材は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関してはあまり詳しくない場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。2023年度は、赤い糸ONLINEに用いるプレゼンスライドの作成および対面の赤い糸会に向けたポスター作成のポイントやアピール方法について演習しました。

2024年度開催予定

各回の赤い糸会に先立って実施予定



⑩ 博士力実践インターンシップ

DC・PD

1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!



国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、説明会だけではわからない多様な社会での活躍方法を体得する機会です。企業が公募しているインターンシップにとどまらず、希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

2022年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
情報科学 DC2	化学	神奈川	2か月
情報科学 DC1	化学	京都府	1か月

2023年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
工学 DC1	化学	神奈川	7週間

インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士学位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3か月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

1. 大学院共通授業科目「博士インターンシップ」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)「博士インターンシップ」(2単位)

受入企業からの声

企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

企業にとってのインターンシップの意義

- 大学との関係構築、協力関係の深化
- 優秀な人材の確保、発掘
- 新技術、新テーマの導入促進効果
- 職場の活性化
- 企業のPR

大学院博士後期課程で伸ばしておくべき能力

- 習った知識を駆使して問題を設定し、解決していく能力
- 複雑な課題を整理する能力
- 論理的に考える能力
- アイディアを創造していく能力
- 異分野技術者とのコミュニケーション能力
- 文章で的確に情報を伝える能力
- 社会に対する幅広い関心

インターンシップに行くまでの流れ



<ul style="list-style-type: none"> ■ アミノアップ化学 ■ アルファ水工コンサルタンツ ■ 医学生物学研究所 ■ 花王 ■ カネカ ■ 京セラ ■ クラシエ製薬 ■ 栗山町農業振興公社 ■ KDDI研究所 ■ 高研 ■ 神戸製鋼所 ■ サントリー HD ■ JFEエンジニアリング ■ JAきたみらい ■ JNC 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 塩野義製薬 ■ シスメックス ■ 島津製作所 ■ 住友化学 ■ 住友電気工業 ■ セラバリューズ ■ ダイナックス ■ 帝人 ■ データフォーシーズ ■ 東急建設 ■ 東芝 ■ 東レ ■ 日生バイオ ■ ニッピ ■ 日本製鉄 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本電気 ■ 日本IBM ■ 日本アレフ ■ 日本ゼオン ■ 日本データサービス ■ パナソニック ■ 阪大微生物病研究会 ■ ピアメカニクス ■ 日立製作所 ■ 富士通研究所 ■ 北海道システム・サイエンス ■ マルハニチロ ■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー ■ 三井化学 ■ 三菱電機米国研究所 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヤンマー ■ リコー ■ リバネス ■ ロート製薬 ■ Alberta University ■ Bejo Seeds ■ Duke University ■ Dupont Pioneer ■ IAEA ■ NemGenix ■ New South Wales University ■ Sapienza - Università di Roma ■ Starfighters ■ Texas A&M University ■ The University of Massachusetts
---	--	---	---

インターンシップに参加して 川向 ほん香

総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
2024年3月修了予定
→住友ファーマ株式会社内定



私は博士後期課程に進学を決めたときから、修了後は民間企業で働きたいと考えていました。そこで、M2の10月頃に吉原さんに連絡し、博士後期課程の就職活動について相談しました。相談の中で、島津製作所のインターンを紹介していただき、D1の秋に6週間のインターンシップを実施させていただきました。

インターンシップでは、前半3週間は研究部門にて質量分析技術の開発に携わりました。食中毒の原因となる毒素の測定方法を確立するために、1週間で10条件以上の条件検討を行いました。研究成果を製品化するためには、誰が行っても安定した結果が出る必要があり、アカデミックの研究よりも厳密な条件検討が必要であることを実感しました。後半3週間は開発部門にて島津製作所の装置を組み合わせた測定系の提案を行いました。開発部門は研究部門と比較するとより顧客に近い部署です。測定系の提案のために、「島津の製品と他社の製品を比較する」ことを念頭において論文を探したり、企画書を書いたりといった、大学の研究室とは違った経験を積むことができました。インターンシップを通して、民間企業で働くことを具体的に想像することができました。実際に就職する企業は島津製作所ではありませんが、インターンシップの経験を生かして納得のいく就職活動ができました。

博士の学生の方の中には、インターンシップによって自分の研究がストップすることに抵抗がある方もいらっしゃると思います。私のテーマは実験系ですが、インターンシップ中は帰宅後にデータの解析を進めたり、オンラインでの学会に参加したりするなど、なるべく大学の研究から離れないように心がけていました。インターン先によりますが、ある程度は大学での研究との両立に対応していただける場合が多いと思います。進路に迷っている方は、なるべく早期にインターンシップに参加し、博士課程修了後のビジョンを持つことをおすすめします。



博士インターンシップ報告会

MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士による体験報告会です。

2023年度実施状況

※オンラインで実施

2023年度受講者アンケートより

まだM1で就職か博士課程進学か迷っていますが、博士課程進学後の就活の仕方を具体的に理解できたのでとてもよかったです。

インターンシップ決定までのステップ(面談など)を具体的に聞くことができ参考になりました。



2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、立命館大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し13大学に規模が拡大しており、事業期間(8年間)が終了した後も継続して活動しています。また、この事業は科学技術振興機構による事後評価で最高位の「S評価」を受けています。当イベントに参加して内定した学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の12大学からも参加できますし、12大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。

イノベーション創出人材連携育成プログラム

13大学が連携し、博士人材を育成



外国人DC・PDのための

I-HoP

外国人DC・PDを支援!

Graduate Career Development for International Students and Researchers

CAREER LINK MEETUP

-For international DC and PDs-(英語版赤い糸会)

外国人DC・PD

- 1.全編英語で行う赤い糸会!
- 2.応募時点で日本語力を求めない企業との直接交流!
- 3.外国人博士の日本での活躍の可能性を広げる!



国内でも極めて珍しい「博士向け」+「使用言語:英語」のマッチングイベントです。2019年初開催、2020年度からはオンラインで実施しています。当イベントに参加して内定した留学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。企業7社~10社、外国人博士人材20~40名が参加し、日本語の赤い糸会同様に、企業からのショートトーク、博士人材による研究スキルやキャラクターの発表、企業のブースセッションにより、密度の高い交流を行います。I-HoPでは今後の継続開催に向けて、応募時点で日本語力を要求しない(英語で採用の可能性のある)企業の情報を収集しています。

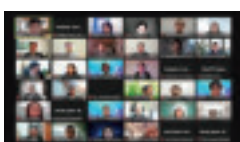
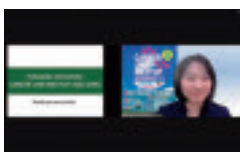
2024年度実施予定

年1回程度実施予定 外国人DC・PD対象

これまでの参加企業

(敬称略、AtoZ順)

- Accenture Japan Ltd(アクセンチュア) ■Astellas Pharma Inc.(アステラス製薬)
- AWL, Inc.(アウル) ■Cambridge Consultants Japan Inc(ケンブリッジコンサルタンツ)
- Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.(中外製薬) ■enU Pharma, Inc.(遠友ファーマ)
- GPSS Group ■INDETAIL Co., Ltd.(インディテール) ■KPMG Ignition Tokyo, Inc.
- KYOCERA Corporation(京セラ) ■Leave a Nest Co., Ltd.(リバネス)
- Mitsubishi Aircraft Corporation(三菱航空機) ■MOLCURE Inc.(モルキュア)
- National Institute of Advanced Industrial Science and Technology(AIST,産総研)
- NEC Corporation(日本電気) ■Rakuten Mobile, Inc.(楽天モバイル)
- Ridge-i Inc.(リッジアイ) ■ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.(ロート製薬)
- Sanoh Industrial Co., Ltd.(三桜工業) ■Shiseido Company, Limited(資生堂)
- Sony Corporation(ソニー) ■Systemex Corporation(シスメックス)



参加者アンケートより

-The event was highly informative and provided efficient networking opportunity between students and companies.

-We worked very productively with the company's representatives and gained knowledge about the skills needed to work in the industry.

-It was a great chance to talk with companies in English, and the good thing about this interaction was that at least the language gap was not an issue. All the discussions and meetings were fruitful and I got interested and will be applying to a couple of companies after attending this event.

移転可能研究力強化セミナー

外国人DC・PD

- 1.英語による多様なセミナーを開催!
- 2.海外の研究者との交流!
- 3.視野をグローバルに広げる!



主に外国人博士人材の研究力強化、キャリアパス多様化等を目的として「英語論文執筆セミナー」「日本でのビジネスマナー」「海外でポジションを獲得した先輩留学生による講演」等の多様なセミナーを英語で開催しています。

2024年度実施予定

調整中

DC・PD対象(日本人含む)



2023年度開催セミナー(抜粋)

-Improving Your Oral Presentation Skills

-Connecting to opportunities through LinkedIn

-Building Academic Career in Japan for International Students

-Improving the Quality of Your Research Article

-Tips for designing your presentations: What I learned from scientists abroad

-Building Trust: Business Manners and Etiquette in Japan

北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター
センター長
教授 吉原 拓也



先端人材育成センターのS-cubicでは、大学院学生(MC・DC)や博士研究員(PD)等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル(Transferable Skills)を提供するプログラムです。

平成18(2006)年度にS-cubicがスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10年以上の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー」、「博士力実践インターンシップ」、「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成23(2011)年度以降はこれらプログラム単独、あるいは組み合わせで4つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PDと企業の登録制Webコミュニケーションシステム「Hi-System」、DCやPD専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討したい」などの嬉しい

コメントが寄せられており、これは長年に渡るS-cubic活動の積み重ねの成果と考えています。

また平成26(2014)年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の3大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに3大学コンソーシアムは新たな参加大学を迎え、令和4(2022)年度までに13大学まで発展することとなり、その人材育成プログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子「S-cubic通信」に詳しく記載しましたので、ぜひ一読下さい。

S-cubicは、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や業界とのマッチングの場等を提供します。まずHi-Systemに登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。

先端人材育成センター 組織と役割

先端人材育成センターでは、博士後期課程学生(DC)や博士研究員(PD)のキャリアデザインのための育成支援、連携大学とのコンソーシアムを組むことによるそれらの施策の共有化、学内外の連携による多様な研究人材の研究環境整備に取り組んでいます。また、キャリアセンターと連携することにより学部から士まで一貫したキャリア教育・キャリア支援を実施しています。

総長

理事

大学院教育推進機構

上級人材育成部門

S-cubic

1. 博士人材の就職支援事業の実施、意識調査、カウンセリング/J-window
2. 人材関係情報(大学院生、研究者、教員、企業)の交換や集積と解析/Hi-System
3. キャリア形成プログラムの開発と推進/Advanced COSA、Advanced COLA、キャリアマネジメントセミナー、キャリアパス多様化支援セミナー、演習や講習
4. 企業情報の直接入手とマッチング、自己PR能力向上/赤い糸会
5. 博士力実践の向上と実務体験/博士力実践インターンシップ

I-HoP(国際人材育成プログラム)

1. 海外からの若手研究者の意識調査、国内外大学院キャリア支援組織の調査と連携
2. 海外からの若手研究者のためのキャリア相談窓口設置
3. 海外からの若手研究者のためのキャリア形成プログラム開発

連携型博士研究人材育成推進部門

COFRE

1. 北大、東北大、名大で協働して若手研究者育成(現在は、大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、神戸大学、兵庫県立大学、立命館大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携)
2. 施策の相互乗り入れ、参加枠提供、共同開催

